

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）  
フットベースボール競技実施要領

1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内および登録選手15名以内（男女は問わない。）とする。
- (2) 監督およびコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の人数は、選手を兼ねる監督およびコーチを含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とし、3位決定戦を行う。
- (2) 試合は、7イニング制とし、試合開始後60分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3) 同点の場合は、タイブレーカーにより試合を延長して行う。ただし、延長は2回を限度とし、延長開始後15分を経過した後は、新しいイニングには入らない。それでも同点の場合は、最終出場選手9名の抽選によって勝敗を決定する。
- (4) 3回終了以降20点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断された場合は、3回以上の回の終了をもってコールドゲームとする。（決勝戦を含む。）
- (5) 指名選手（DP）および再出場（リエントリー）を採用する。
- (6) 試合球は、サッカーボール（ゴム製4号球）とし、主催者が用意する。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチおよび選手は、同色・同意匠ユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中につけなければならない。なお、数字の大きさは15cm四方以上とし、監督は30番、コーチは31番と32番、主将は10番とし、他の選手はそれ以外の番号とする。また、ユニフォームの前面（胸下）の番号および背中の個人名については各チームに一任するが、付ける場合は全員とし胸下番号は6cm四方以上12cm四方以下で、個人名はローマ字で背中の上部とする。また、ユニフォームの左袖（左肩から10cm程度）に、都道府県・指定都市名を表示すること。
- (3) 靴は、運動靴または金属製以外のスパイクとする。
- (4) 危険防止のための手袋を着用してよい。ただし、投手は、灰色または白色以外のものでなければならない。

## 5 組合せ

組合せは、平成 30 年 7 月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

## 6 打順表等

(1) 打順表は、試合開始時刻 30 分前までに 5 部作成し、競技会場の競技本部へ提出する。

なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。

(2) 攻守順の決定は、打順表提出時に審判員立ち合いの下、球審のコインのトスによって決定する。

## 7 開始式・表彰式

開始式および表彰式は、競技会場で行う。

## 8 その他

(1) 平成 30 年 10 月 12 日（金）に監督会議を行う。

なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。

(2) 監督会議では、あらかじめ主催者と協議した事項について、大会申し合わせ事項を設けることができる。

(3) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを 1 塁側とする。

(4) ベンチ内へは、選手、監督、コーチ以外は入場することができない。

(5) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。

(6) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。

(7) 練習球は、各チームが用意する。

(8) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。